

本部業務のアナログ運用による負担を分析し、労務・売上管理の自動集計化を検討。FC本部のノウハウを直営店へ展開し、月末の業務負担を解消して「攻めの経営」へ転換するためのDX計画を策定。

結び株式会社				https://www.nekko-group.com/company.html	
本社所在地	松江市東出雲揖屋2299番地4	資本金	100万円	事業概要	居酒屋、フレンチレストラン、FC店舗の運営
代表者名	古安 勇太	従業員数	61名		
設立年	2013年	業種	飲食業		

背景

- 店舗売上のFAX送信や手書きタイムカードの回収・入力など、本部業務の多くがアナログであり、事務スタッフに過度な負担とリスクが集中している。
- 売上情報の把握にタイムラグがあり、急激な外部環境の変化に対して迅速な経営判断を下すためのリアルタイム性が欠如している。
- 業務が特定の個人に依存しており、担当者の不在が給与計算の停止に直結するリスクを抱えているため、誰でも対応可能な標準化が求められている。

支援者 | 株式会社えすみ

計画の骨子

労務・売上管理の自動集計化

- ▶ クラウド勤怠ツールの導入により打刻から給与計算までの自動化を推進し、月末の事務工数を30~40%削減することとした。
- ▶ 転記ミスと属人化を完全に排除し、経営判断に必要なデータが即座に揃う体制を構築する計画を策定した。

デジタル基盤の刷新と標準化

- ▶ オンプレミス型からクラウド型システムへの移行を進め、拠点を選ばない業務遂行とFC流の標準化された運営基盤を確立することとした。
- ▶ 煩雑な作業から解放されたリソースを顧客サービス向上や店舗拡大へ充当し、収益拡大に向けた攻めのDXを推進する方針を策定した。